宮城県教育委員会

学校安全・防災だより

宮城県教育委員会
防災教育推進キャラクター「まもっぺい」

令和８年１１月１９日（木）
保健体育安全課発行【第８号】

「みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会」を開催しました

10 月 25 日（日）に、県内の高校生 89 名が参加のもと、「みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会」を開催いたしました。

今年度は、石巻市震災遺構大川小学校での語り部講話をプログラムに取り入れ、震災の記憶がない高校生が当時の出来事に触れ、防災を「自分事」として考える貴重な機会となりました。未来の地域防災を担う人材を育成するため、今後も継続して実施してまいります。

【参加者の感想及び研修の様子】（一部抜粋）

○　人生で初めて震災遺構に行き、震災を体験して辛い思いをした方の話を聞いて、災害の恐ろしさや威力を学びました。さらに、こういう場所があることでいま自分が災害を学べているので、いつまでもこの場所が残り続けてほしいと考えました。

○　現地を見て津波の恐ろしさを知りました。ガイドの佐藤さんの話がとても心に残りました。避難計画の重要さや、実際に立ったときどういう状況に置かれるのかなど初めて知ることがあり、より防災意識向上の必要性を感じました。

○　備えておくだけでは命を救えないことがわかりました。本番を意識した避難訓練が大事だと知りました。災害は自分事として考えなければならないと知りました。





引き続きクマによる人身被害対策の徹底をお願いします。

「クマ出没注意報」が 11 月 20 日（金）まで富谷市で発令されており、依然としてクマの目撃情報は連日報道されております。近隣のクマ出没情報をこまめにチェックし、被害に遭うことのないよう、引き続き十分注意しましょう。

クマ対応ＵＲＬ：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hotai/20189330h/kuma.html

「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」を開催しました

11 月 12 日（木）に、「学校安全の取組」の共有と学校安全教育のさらなる発展を図るため、東北大学災害科学国際研究所との共催により「安全フォーラム」を開催しました。

今年度は「多様な世代から考える学校安全」をテーマに掲げ、学校安全３領域および地域連携に関する事例発表や、関係機関からの情報提供をいただきました。また、午後からのパネルディスカッションでは、参加者の方にも意思表示をしていただき、会場全体が一つになったフォーラムとなりました。ご参加いただいた方は、是非各学校等において情報共有を図っていただければと思います。

【参加者の感想】（一部抜粋）

○　例年の著名な方を招いた講演とはまた違い、今回はより現場に身近な内容だったことで深く納得しながら学ぶことができました。特に「自分ごと」というキーワードは直近の避難訓練にも早速活かすことができ、大変有意義でした。次年度以降も今回のような現場目線の企画を期待するとともに、資料配布のみだった「クマへの対策や対応」についてもぜひ取り上げていただきたいです。

○　参加型のディスカッションは、とても良かったと思う。ぜひ PTA の方々にも聞かせたかった内容であった。

○　多賀城高校の生徒さんの未来を語る姿が大変素晴らしく、頼もしく感じました。小中学校の防災教育の土台を基に、高校や大学でさらに力をつける頼もしい人材がこれからも育つことを信じて、防災教育に取り組んでいきたいと感じました。

○　今年度のスタイルは例年より良かったと思います。ただ全てパネルにするよりは講義と一緒にするのも有りかと思います。

○　取組事例発表や情報提供の内容もとても参考になりました。特にパネルディスカッションは、実情の異なる学校の課題を解決するヒントを得ることができるので、来年度も設定していただきたいと思いました。

2026 年度気象講演会のご案内

激甚化する大雨にどう備えるか

～予測の最前線と新たな防災気象情報～

共　催　日本気象学会東北支部・仙台管区気象台

日　時　令和８年１１月２８日（土）１４時～１６時

会　場　東北大学　理学研究科合同Ｃ棟〔Ｈ－０４〕（２階）

青葉サイエンスホール【参加無料】

その他　要事前申し込み（先着８０名）※定員になり次第締切

ＵＲＬ　https://www.data.jma.go.jp/sendai/topic_old/26/20261030_kishoukouen.pdf